

時津町は「^{うちどく}家読」を推進しています

たまには テレビをけして

ようじむ 幼児向け 2025^{ねん}年 ^{あきごう}秋号



とぎつちようりつとぎつとしよかん
発行：時津町 立時津図書館

^{うちどく}家読とは

家族みんなで好きな本を読んで、読んだ本について話す。これが「うちどく（家読）」です。難しいルールは要りません。家族みんなでルールを決めてはじめてみましょう。

家族で同じ本を読みあったり、おとうさんやおかあさんに読み聞かせをしたりと楽しい時間を過ごしましょう。



Illustrator ATSUKO



「あてっこどうぶつずかん だれ」
あべ 弘士//作 絵（KADOKAWA）

「〇〇なのはだれ」

クイズで^{どうぶつ}動物についてくわしくなろう。

^{もんだい}問題が進むにつれて、^{せんたくし}選択肢が多く^{おほ}問題も^{むずか}難

しくなっていくよ！いくつ^{せいかい}正解できるかな？

^{かそく}家族でよんだらきっと盛り上がる。

^よ読み聞かせにもぴったりです。



「とっくんトラックもりへぶぶー」
いわむら かずお//作 絵（ひさかたチャイルド）

“とっくん”はトラックのおもちゃを^ひ引きながら、^{もり}森の中を^{なか}を^{すす}どんどん進んでいきます。
^{あき}秋の^{もり}森にはたくさんの^き木の実が^お落ちていて、それをトラックに^つどんどん積んでいって…。
^{きせつ}季節を感じられて、^{あき}秋の^{もり}森を^{さんぽ}散歩したくなる絵本です。



「はっけよーい」
ケロボンズ//作 いぬんこ//絵
（ポプラ社）

「はっけよーい、のこった！」

かわいい^{どうぶつ}動物たちとおすもうで^{しょうぶ}勝負だ！

^{さいしよ}最初はねずみちゃん、次ににわとりくん、

そしてくまちゃん。せまってくる^{どうぶつ}動物たち

ちに勝てるかな？“エビカニクス”などで

^{だいにんき}大人気ケロボンズによる^{なんど}何度も^よ読みたくなる

^{えほん}絵本です。



「えをかくかくかく」
エリック カール//作 アーサー ビナード//訳
（偕成社）
☆パパ&ママへ

ぼくは^え絵かきになる。そして^え絵を描く。^{あお}青

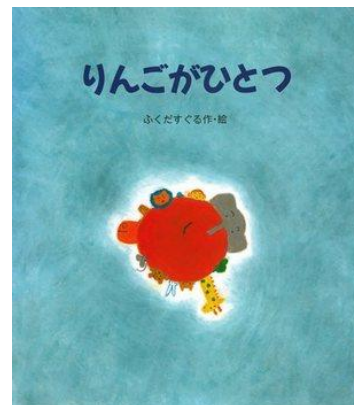
^{うま}い馬、^{きいろ}黄色い牛、^{うし}オレンジ色のゾウ。図鑑に

はこんな^{いろ}色の^{どうぶつ}動物たちはいないけれど、それ

でいい。どれも^{すてき}素敵で、カッコイイ。

こどもの^{どくそうてき}独創的で^{ゆた}豊かな^{かんせい}感性を^{はぐく}育^{えほん}む絵本

です。



「りんごがひとつ」
ふくだ すぐる//作 絵
（岩崎書店）

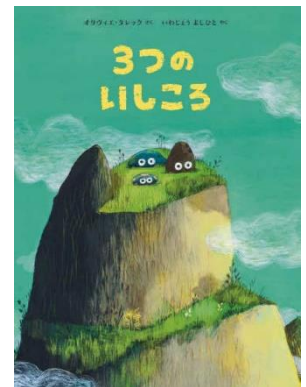
おなかをすかせた^{どうぶつ}動物たちの^{まえ}前に、りん

ごがひとつ。すると、おさるがりんごをもって

にげてしまったよ。にげるおさると、おいかけ

る^{どうぶつ}動物たち。かわいい^{どうぶつ}動物たちのくすっと

^{わら}笑えて、ほっこりする^{ものがたり}物語です。



「3つのいしころ」
オリヴィエ タレック//さく
いわじょう よしひと//やく
（BL 出版）

^{みつ}三つのいしころが^{やま}山のてっぺんで、じーっとく
らしていた。風に吹かれ、^{かぜ}遠くの^{とお}山^{やま}々をながめながら、それはそれで^{しあわ}幸せな^く暮らしだった。ところが、ある日、^ひ雷^{かみなり}がゴロゴロとなっ
て、^{やま}山のてっぺんに^お落ちた。いしころたちはその^{ひょうし}拍子にごろんと^{ころ}転がり、^{いごころ}居心地のいいてっぺ
んを^お追い出されてしまった。でもそれは、^だこれから^{ぼうけん}つづく冒険の^{はじ}始まりに^す過ぎなかった。